

令和5年度
事業計画書



社会福祉法人草津市社会福祉協議会

目 次

1. 基本方針	2
2. 事業計画	3～18
I 住民主体の福祉のまちづくり		
基本目標 1	福祉の風土づくり	3～4
基本目標 2	住民主体の活動づくり	5～9
基本目標 3	新たな絆をつむぐまちづくり	10～11
II 市社協が取り組む福祉の基盤づくり		
基本目標	地域で安心して暮らしつづける ことのできる体制づくり	12～18

この事業計画書は、第4次地域福祉活動計画（R4～R8）の進捗・評価の観点から、活動計画の推進項目と整合性を持たせた構成としています。

1. 基本方針

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を引き続き受け、これまでの波をはるかに上回る爆発的な勢いで感染が拡大した第 7 波の影響もあり、市社協・学区社協ともに活動の中止・延期や活動内容の変更を余儀なくされたところです。令和 5 年 1 月以降、新規感染者が減少傾向となり、政府は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けを 5 月 8 日以降引き下げることなどを決定しました。また、「ウイズコロナの取組をさらに進め、日常を取り戻すことができるよう着実に歩みを進める。」との考えが示されています。

このような中、草津市社会福祉協議会では、令和 5 年度に第 4 次地域福祉活動計画(令和 4 年度から 5 カ年計画)の 2 年目を迎え、計画の着実な実行に合わせ、新型コロナウイルス感染症への対応も踏まえた新たな取組が求められています。

令和 5 年度の予算においては、今日までの取組に縛られることなく、地域住民の創意や主体性を源として、地域の様々な活動が復活し、さらに、コロナ禍で得られた教訓を生かした活動や、環境を整備していく新たな活動が生まれるように支援を行っていくことも必要です。

その中では、社協活動の原点、地域の生活課題に気づき、あらゆる機会を活用し、地域住民ができることから活動を始める気運を高める支援を、市社協は進めてまいります。また、生きづらさを抱える当事者の声も相談業務などを通じて聞きながら、重層的な個別支援ができるよう、関係機関との連携の強化や、行政への政策提案も行い、地域住民による見守り、支え合うボランティアづくりを進めていくこととします。

一方、活動に必要な財源である会費や共同募金配分金収入は、年々減少していますが、コロナ禍による影響に加え、物価の高騰など経済状況が大きく変化している中、令和 5 年度の活動資金は更に減少する恐れもあります。

このようなことから、令和 5 年度は、補助事業や委託事業等を効率的に運営することに加え、既存事業の見直しを行い、限られた財源を有効に活用し、真に必要な活動を実施するとともに、住民主体の地域福祉活動推進の伴走者として、市社協活動を展開してまいります。

I.住民主体の福祉のまちづくり～参加と協働の地域福祉活動の推進～

基本目標 1 福祉の風土づくり

～福祉の風土を広げ、地域のくらしの課題を他人ごととしない、地域福祉力の向上をめざします～

福祉教育や啓発活動の充実に取り組み、尊重され、くらしの課題を他人ごととしない福祉の風土を広げ、課題を受け止め支え合いの活動を進めます。

(1) 地域福祉に関する新たな周知啓発方法の開発 重点

見える社協、魅せる社協活動をめざして積極的な広報啓発を行い、住民への周知・啓発を行うことで、地域の取組に関心をもつ人を増やし、地域の福祉力アップを図ります。

(単位:千円)

事業・項目	内容	予算	財源
市社協広報紙「社協くさつ」発行	市社協事業をはじめ、ボランティア活動や地域の福祉活動に着目した市社協広報紙「社協くさつ」を年4回発行し、市内の全世帯と賛助会員に配布します。	2,131 835	会費 共募
市社協ホームページ運営	市社協や学区社協などの地域福祉活動について情報を発信し、また、ボランティアや地域の福祉活動の様子など、リアルタイムに伝え、見やすいホームページ運営を図ります。	284	会費
近所力アップ講座	地域に職員が出向き、より身近な福祉の専門職として、住民同士の日頃からのつながりの大切さを伝え、住民の皆様とともに地域福祉活動の大切さを語りあいます。 市民が「聞きたい」と思えるような、市社協ならではの楽しい講座の周知啓発に努めます。	9	会費
「広報くさつ」点字版作成・配付	視覚障害者への支援として、毎月「広報くさつ」の点字版を作成し、希望される人に配付します。	378	市受託

<関連する事業> ・福祉教育の推進 ・市社協キャラクター「ふくちゃん」啓発

(2) 若い世代に福祉風土を広げる

特に若い世代を対象に、福祉教育やボランティアのきっかけづくりに取り組むことで、小さいときから福祉を身近に感じてもらい、若年層の福祉風土を広げていきます。

事業・項目	内容	予算	財源
社会福祉功労者等表彰式典	長年活躍されている地域福祉活動者やボランティア活動者、福祉活動を推進している学校等の功績を称え表彰します。また、社会福祉の向上のため御寄付いただいた個人や団体に感謝の意を表します。	212	会費

若い世代のボランティア活動のきっかけづくり事業【新規】	若い世代にボランティアに関心を持っていただき、参画していただけるように、ボランティアの魅力発信や呼びかけ、体験など、新たなボランティア参画のきっかけづくりを進めていきます。	86	ボラ基金
福祉教育の推進	「ボランティア学習のてびき」を活用し、子どもたちの福祉に対する考え方や豊かな心の育ちにつながるよう支援します。また、子どもたちの福祉への理解を進めるために、福祉学習機材の貸出やボランティア派遣を行い、より充実した学習につながるような支援を実施します。	14	ボラ基金

<関連する事業> ・近所力アップ講座 ・市社協キャラクター「ふくちゃん」啓発
・ボランティア活動支援事業

(3) 住民どうしが互いに見守り・気にかけてあう関係を広げる

住民どうしがつながり合い、お互いを見守り・気にかけてあう関係をつくることで、日々の生活や地域の困りごとに気づく人を増やし、地域の福祉力の向上に努めていきます。

事業・項目	内容	予算	財源
チューリップ事業（つながりサポート事業）	コロナ禍において、貧困・孤独・孤立により不安を抱える女性が、社会の絆・つながりを回復することができるよう、生理用品や食料品の提供を通じて、対象者を必要な相談窓口や各種サービスにつなげるとともに、民生委員・児童委員等の地域の支援者につなげていきます。また、連携会議や研修会を実施し支援体制の強化を図ります。事業は、施策連携・公民連携・地域連携の3連携により進めます。	3,207	市受託
社会を明るくする運動	地域住民の犯罪防止と、更生保護に対する一層の理解を深めるため、関係機関・団体・学校が協働して運動を展開します。	125	市受託
地域サロン活動支援	高齢者の見守り活動の推進や、介護予防と自立を促進するため、地域サロン活動費を助成します。また、地域サロン活動の担い手の育成や、様々な相談に応じる地域サロン支援員を配置し、地域サロンへの訪問活動や交流会などを通して、様々な相談支援活動の拡充をめざします。	8,019	市補助

<関連する事業> ・近所力アップ講座 ・福祉委員設置促進 ・ボランティア活動支援事業
・市社協事業協力ボランティア育成講座

基本目標2 住民主体の活動づくり

～地域の困りごとを話し合い、未来に向けた人づくり・活動を考える～

くらしの課題を共有し、課題の解決に向けての地域福祉力向上を図るため、人づくりと支えあう体制づくりを進めます。

(1) 小学校区を基盤とした地域福祉力の向上

身近な地域の集まりである町内会が所属する小学校区を、重要な地域のまとまりとして据え、小学校区の地域の特徴を踏まえた上で、地域福祉力の向上と住民主体の地域福祉活動の発展のため、その基礎をなす人づくり、支えあう体制をつくりまします。

(1-1) 地域福祉活動の担い手づくり **重点**

地域福祉を推進するため、各学区の地域福祉活動の基礎となる人づくりを、より一層進めまします。

事業・項目	内容	予算	財源
草津市福祉教養大学・大学院の開催	「心に訴え、誰もが聞いてみたい斬新なテーマ」の講座として、今まで福祉に興味がなかった市民に参加いただけるように、幅広い分野の講師に講演いただき、地域の担い手不足と言われている現状を打破するべく、「福祉教養大学」を実施まします。また、受講された卒業生を対象とした大学院を引き続き実施し、具体的活動へのカリキュラムを設定しながら、地域で活躍いただける人材を育てまします。	688 420	市補助 会費
地域福祉活動助成	地域の支えあい活動を推進するため「福祉の土壌づくり」「活動の担い手づくり」「個別援助活動」「地域福祉関係者との交流」を進める学区社協を支援まします。 ○学区社協運営補助金 260,000円/学区 アフターコロナを見据えた地域福祉活動応援補助金を設け、学区社協活動を支援まします。 ○学区の元気をカムバック補助金(申請制) ・コロナ前の元気を取り戻そう学区社協応援補助金 35,000円/学区 ・学区の元気を取り戻ましますボランティア活動グループ応援補助 30,000円/学区	3,640 910	共募 ボラ基金
福祉委員設置促進	「福祉委員の手引き」を用いて、学区社協との協働による学習会等を開催することで、福祉委員活動が活発に行われるよう支援まします。地域人材(地域福祉活動人材)の育成として、コミュニティボランティアの視点を盛り込んだ研修会を実施まします。	166 9	市補助 会費

<関連する事業>

- ・生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・草津市福祉教養大学院卒業ボランティアグループ応援補助金

(1-2) 地域で支えあう仕組みづくり **重点**

くらしの課題を共有し、課題の解決に向けた地域福祉活動を進めていくことで、地域で支えあう仕組みを推進します。

事業・項目	内容	予算	財源
生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)	地域における包括的な支え合い活動を推進するため、多様な活動団体・事業者等が連携・協議し、様々な日常生活上の支援体制づくりを進めるとともに、高齢者の社会参加の推進を図ります。 特に事業推進の核である「医療福祉を考える会議」は、市内全学区で取り組めるよう、行政・地域包括支援センターと密に連携し、実施学区への継続支援および未実施学区への立上げ支援を行います。	20,737	市受託
地域支え合い運送支援	学区社協やまちづくり協議会が実施する移動困難者の運送支援事業を支援し、住民が主体的に取り組む支え合い活動が広がるよう支援していきます。 既存実施学区である、志津南学区、老上学区・老上西学区、南笠東学区、山田学区の活動が継続していくよう、安全運転講習会の開催等によりサポートします。	660	市補助
草津フードバンクセンター設置	生活に困窮している世帯、住民同士の支え合い活動を実施する団体に対して、フードバンク協力ボランティアとともに食品のニーズを把握し、草津フードバンクセンターに集まった食糧を無償で提供し、地域福祉活動推進の一助とします。 また、企業や個人にとっては、本事業への協力が、社会貢献や地域福祉活動への参加・協力になるという積極的な広報活動を展開し、市民の協力を得られるように善意の循環システムを構築します。	87 87	市補助 善銀
介護予防事業支援	市老人クラブ連合会が実施する事業を支援します。	72	共募
障害児者介護者リフレッシュ支援	肢体不自由児者父母の会が中心となり実施する事業を支援します。	38	共募
知的障害者社会参加自立支援	草津手をつなぐ育成会が中心となり実施する事業を支援します。	40	共募
中途視覚障害者支援	市視覚障害者協会が実施する事業を支援します。	8	共募
いきいきふれあい大運動会助成	市心身障害児者連絡協議会が実施する事業を支援します。	38	共募
歳末子ども支援事業助成	年末年始時期に、子ども等を対象にした事業を行う学区社協等に対して、支援金の助成を行います。	150	共募
福祉機器リサイクル(貸出事業)	不要になった福祉機器のリサイクルを促進するとともに、市内および近隣市に住む一時的に車いす等を必要とする人に貸出します。	157	市受託

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・高齢者への電話訪問事業
- ・まごころ便
- ・福祉車両貸出

(1-3) 住民福祉活動計画の推進

地域住民と市社協がともに、同じ理念のもと、地域福祉活動に取り組めるよう、各学区の課題を把握しながら、住民福祉活動計画を策定し、未来に向けた地域福祉の推進を図ります。

事業・項目	内容	予算	財源
地域福祉コーディネーターによる学区社協支援	学区社協とともに各学区の地域課題を把握し、課題解決へ向けた地域福祉活動の推進を図ります。	48,880 1,274	市補助 自主

<関連する事業> ・生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)

(2) ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり

住民どうしがふれあい、いきいきと楽しく活動できるボランティア活動を広めていくため、多種多様なニーズをつかみ、ボランティア活動につなげていくことで、ボランティア活動の充実を図ります。また、誰もが参加できるボランティアの仕組みづくりを進めることで、ボランティアの輪を広めます。

(2-1) 若い世代のボランティア活動のきっかけづくり 重点

ボランティアの高齢化が進む中、若い世代にボランティア活動に関心をもってもらい、ボランティア活動に参加してもらえるよう、ボランティアの魅力発信や、子どもや保護者が参加しやすいボランティア活動を広げる等、きっかけづくりを進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
若い世代のボランティア活動のきっかけづくり事業 【新規】	若い世代にボランティアに関心を持っていただき、参画していただけるように、ボランティアの魅力発信や呼びかけ、体験など、新たなボランティア参画のきっかけづくりを進めていきます。	86	ボラ基金
収集ボランティア啓発	幅広い世代の方にボランティアのきっかけとなるよう、身近なボランティア活動である収集ボランティアを推進します。学校、地域、関係機関へチラシを配布し、イベント等においても周知啓発に努めます。(使用済み切手・ペットボトルキャップ・プルトップの収集など)	18	ボラ基金

<関連する事業> ・ボランティアセンターの運営と機能強化 ・ボランティア活動支援事業
 ・災害ボランティアセンター ・市社協事業ボランティア育成講座
 ・福祉教育の推進 ・共同募金活動助成

(2-2) 新たなボランティア発掘の仕組みづくり **重点**

ボランティアの魅力を知り、ボランティアに関心をもつ人を増やしていく仕組みづくりを進めることで、さらなるボランティアの輪を広めます。

事業・項目	内容	予算	財源
市社協事業協力 ボランティア育成 講座 【新規】	市社協が実施する、電話訪問事業、福祉車両貸出事業、フードバンク事業などのボランティアの担い手を増やすため、事業の内容、ボランティア活動について多くの方に知っていただき、担い手になっていただくための講座を実施します。	66	ボラ基金
草津市福祉教養 大学院卒業ボラ ンティアグループ 応援助成金	草津市福祉教養大学院生・卒業生が立ち上げるボランティアグループに対して支援を行うことで、草津市福祉教養大学で学んだ成果を発揮する場を増やし、継続的に活動していただけるよう支援します。 (1団体10,000円)	50	ボラ基金
草津市ボランテ ィアセンター施設 利用助成	事務所移転により、会議室使用料の生じるボランティアグループに使用料の一部を助成し、活動を支援します。	68	ボラ基金
ボランティアセン ターの運営と機 能強化	イベントや講座を通して、身近なボランティア活動の周知・啓発を行い、趣味や特技がボランティアにつながるきっかけづくりを進め、誰もが気軽にボランティア活動に参加できる仕組みをつくります。ボランティア活動の相談にのり、活動への参加・継続を支援します。	653	ボラ基金
ボランティア活動 支援	ボランティア活動に参加するきっかけとして、活動者・活動団体や参加者同士のつながりを目的に、世代やジャンルを超えた様々な人と人が体験を通して交流する場として「ボランティアマルシェ」を開催します。マルシェを開くことで、住民の皆さまにボランティア体験や活動者とのふれあいの場を提供して、ボランティア活動に興味をもってもらう機会とし、地域福祉の担い手の輪を広げます。また、ボランティアグループ自身が運営することで、ボランティア活動の活性化と、交流の輪を広げます。	417 517	市補助 ボラ基金
ボランティアグル ープリスト作成	ボランティア・地域サロングループリスト、出前ボランティア一覧を作成することにより、ボランティア団体について多くの方に知っていただくきっかけとなり、ボランティア、地域サロンの活動者増加を促進し、また、ボランティアに来てほしい方とボランティアをつなぐことで、ボランティアの活動場所の拡大を図ります。	303	ボラ基金

<関連する事業> ・収集ボランティア啓発 ・草津フードバンクセンター設置
 ・福祉教育の推進 ・若い世代のボランティア活動のきっかけづくり事業
 ・災害ボランティアセンター

(2-3) 誰もが参加できるボランティアの仕組みづくり

誰もが参加でき、いきいきと楽しく活動できるボランティア活動の仕組みと、参加した人が社会貢献を実感してもらえる仕組みづくりを進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
高齢者への電話訪問	65歳以上のひとり暮らし高齢者や、昼間独居高齢者に対し、傾聴ボランティアが電話訪問することで、孤立・孤独を防ぎ、認知症を予防し、日常生活を安心して送れるよう支援します。	134	善銀
草津フードバンクセンター設置 【再掲】	生活に困窮している世帯、住民同士の支え合い活動を実施する団体に対して、フードバンク協力ボランティアとともに食品のニーズを把握し、草津フードバンクセンターに集まった食糧を無償で提供し、地域福祉活動推進の一助とします。 また、企業や個人にとっては、本事業への協力が、社会貢献や地域福祉活動への参加・協力になるという積極的な広報活動を展開し、市民の協力を得られるように善意の循環システムを構築します。	87 87	市補助 善銀
災害ボランティアセンター	災害ボランティア登録制度の周知・啓発を行い、有時のボランティア協力者を増やすとともに、災害ボランティアセンター運営協議会構成団体との連携を深め、有時における効果的なボランティア活動が推進できるよう運営訓練や運営研修を実施し、災害対応力の向上に努めます。 また、三者協定に基づき、草津青年会議所の積極的な参画により、機能強化および訓練内容の充実を図るとともに、それぞれのネットワークを活かし、災害ボランティアセンターの取り組みの周知・啓発を行います。	105 105	市補助 ボラ基金

<関連する事業>

- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・福祉教育の推進
- ・ボランティア活動支援
- ・ボランティアグループ活動助成
- ・草津市ボランティアセンター施設利用助成
- ・収集ボランティア
- ・若い世代のボランティア活動のきっかけづくり事業
- ・ボランティアグループリスト作成
- ・市社協事業協力ボランティア育成講座

基本目標3 新たな絆をつむぐまちづくり

いきいきと楽しく活動する場と、活動する人たちの輪を広げるため、地域や福祉という分野にとらわれず、多種多様な新たなつながりづくりを進めていきます。

(1) 地域を超えたつながりづくり

小学校区内にとどまらず、地域で活動する人たちのつながりをつむぎ、小学校区内という地域を超えたつながりを進め、活動の輪を広めます。

事業・項目	内容	予算	財源
ボランティア連絡協議会助成	ボランティア連絡協議会活動を支援します。	48	共募
ボランティア連絡協議会加入促進	ボランティア連絡協議会の加入を促進するため、ボランティア活動保険料の一部を助成し、ボランティア連絡協議会への加入を促します。	60	ボラ基金
福祉車両貸出	外出が困難な高齢者や障害者のため、福祉車両を貸出するとともに送迎ボランティアの必要な方には調整を行います。送迎ボランティアに安全講習を行い、安全運転の周知に努めます。	1,282	会費
社会福祉法人との連携	地域の現状や課題を共有し、地域福祉活動と連携を図るため、草津市内の社会福祉法人との施設連絡会を開催します。	58 59	市補助 会費

<関連する事業>

- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・ボランティアグループリスト作成
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)

(2) 分野を超えたつながりづくり **重点**

福祉にとどまらず、地域の企業や学校、各種団体などをつなぎ、連携を図ることで、地域の課題や地域の活動について協働で行う取組を進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
まごころ便	コロナ禍に伴う新しい生活様式で「つながり」を切らないように、市内の企業や個人から寄付を募り、地域福祉活動に活用できる物品などをお渡しする「まごころ便」を実施し、地域福祉活動を応援します。	180 9	市補助 会費
善意銀行事業	善意銀行事業では、市民の善意の寄付などを財源として地域福祉活動を行っています。 生活つなぎ資金の貸付、高齢者への電話訪問事業、子どもの居場所づくり等地域福祉活動への支援を行うフードバンクセンター事業等の善意銀行事業について、広く啓発を行い、市民の善意の寄付金の募集を行います。	3,286	善銀
社会福祉法人との連携 【再掲】	地域の現状や課題を共有し、地域福祉活動と連携を図るため、草津市内の社会福祉法人との施設連絡会を開催します。	58 59	市補助 会費

<関連する事業> ・生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)
 ・ボランティア連絡協議会助成 ・ボランティア連絡協議会加入促進
 ・草津フードバンクセンター設置 ・ボランティアセンター運営と機能強化

Ⅱ.市社協が取り組む福祉の基盤づくり～地域福祉活動発展計画～

基本目標 住み慣れた地域で安心して暮らしつつづけることができる体制づくり

(1) 地域福祉活動支援の推進

学区社協をはじめとする地域で活動する人や団体の支援を行うことで、地域福祉活動を活性化し、誰もが安心して暮らせる体制をめざします。

(1-1) 学区社協をはじめとした地域福祉活動支援 重点

地域福祉の推進に欠かせない学区社協をはじめ、地域で活動する団体等に地域福祉のプラットフォームとしての役割を発揮し、ともに地域福祉活動を展開します。

事業・項目	内容	予算	財源
学区社協会長会	学区社協会長の情報交換や研修会等を実施し、福祉でまちづくりを推進する会議を年10回程度開催します。また、年に2回学区社協事務局長会議を開催し、学区社協事務局支援体制の強化を図ります。 各学区の特徴や学区社協の活動状況をまとめた学区社協便覧を作成し、多くの方々に学区社協活動を啓発します。 さらに、民間の助成事業等を継続的に案内し、学区社協活動の継続のための財源確保を支援します。	558	会費
第4次地域福祉活動計画の推進	策定委員会を開催し、第4次計画の進捗管理・評価を行います。	158 159	市補助 会費
地域福祉コーディネーターによる学区社協支援 【再掲】	学区社協とともに各学区の地域課題を把握し、課題解決へ向けた地域福祉活動の推進を図ります。	48,880 1,274	市補助 自主

<関連する事業> ・生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)
・地域福祉活動助成

(1-2) 小地域福祉活動における民生委員・児童委員との連携

地域の身近な相談相手である民生委員・児童委員との連携・活動支援とともに、地域住民の困りごと等を地域の課題として捉え、新たな事業構築などの地域福祉の推進につなげます。

事業・項目	内容	予算	財源
草津市民生委員児童委員協議会事務局	事務局担当の職員を配置し、毎月1回総務会、必要に応じ総務委員会を開催します。また、5部会2委員会1連絡会をはじめとした民児協活動が活発に機能するように支援します。 さらに、学区担当制による情報提供やアドバイスを行うなど、個別援助活動が円滑にできるよう民生委員・児童委員活動を支援・協力します。	別途	別途

<関連する事業> ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
・生活つなぎ資金 ・生活福祉資金

(1-3) ボランティアセンターの機能強化 重点

ボランティアニーズの把握や、マッチング機能、ボランティアの養成や魅力のPR等、ボランティアセンターとして必要な機能を強化し、ボランティアセンターがより一層ボランティア活動の拠点となるよう取り組みます。

事業・項目	内容	予算	財源
ボランティアセンターの運営と機能強化【再掲】	イベントや講座を通して身近なボランティア活動の周知・啓発を行い、趣味や特技がボランティアにつながるきっかけづくりを進め、誰もが気軽にボランティア活動に参加できる仕組みをつくります。ボランティア活動の相談にのり、活動への参加・継続を支援します。	666	ボラ基金

- <関連する事業>
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
 - ・ボランティア活動支援
 - ・若い世代のボランティア活動のきっかけづくり
 - ・収集ボランティア啓発
 - ・ボランティアグループリスト作成
 - ・市社協ボランティア育成講座
 - ・災害ボランティアセンター
 - ・草津市福祉教養大学卒業ボランティアグループ応援助成金
 - ・草津市ボランティアセンター施設利用助成
 - ・ボランティア連絡協議会助成
 - ・ボランティア連絡協議会加入促進

(1-4) 企業等との連携・ネットワークの構築

企業や学校、福祉事業所等、地域にある様々な団体等と、市社協が率先して連携を図り、かつ地域福祉活動の魅力などを情報発信していくことで、様々な団体と地域活動が連携を図るきっかけとし、様々なネットワークの構築へつなげます。

事業・項目	内容	予算	財源
まごころ便【再掲】	コロナ禍に伴う新しい生活様式で「つながり」を切らないように、市内の企業や個人から寄付を募り、地域福祉活動に活用できる物品などをお渡しする「まごころ便」を実施し、地域福祉活動を応援します。	180 9	市補助 会費
社会福祉法人との連携【再掲】	地域の現状や課題を共有し、地域福祉活動の連携を図るため、草津市内の社会福祉法人との施設連絡会を開催します。	58 59	市補助 会費
市社協会員の拡大	福祉でまちづくりに参画する仕組みである社協会員制度の理解を広げる取組を学区社協と連携し進めます。 ○一般会費 … 世帯を単位にした社協への参画を促進します。 ○賛助会費 … 企業を単位にした社協への参画を促進します。賛助会費の内55%を学区社協へ助成します。	(収入) 一般会費 4,791 賛助会費 2,960	会費

- <関連する事業>
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
 - ・草津市民生委員児童委員協議会事務局
 - ・ボランティアセンターの運営と機能強化
 - ・チューリップ事業(つながりサポート事業)
 - ・生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)

(2) 個別援助活動の充実

貧困・孤立・孤独等を防ぎ、相談内容を受け止めることができる相談体制を構築しつつ、様々な関係団体と連携を図ることで、住民に安心を届けます。

(2-1) 包括的な相談体制の構築 **重点**

- 心配ごと相談所の周知・啓発を強化し、すべての人の相談に対応します。
- 生活福祉資金貸付をはじめ、個々の問題を受け止められる相談者として、研修に参加する等、職員の相談能力の向上を図り、相談体制を強化します。
- 民生委員・児童委員をはじめ、人とくらしのサポートセンター等の各種相談機関との連携を強化し、相談を受け止め、切れ目のない支援が行える体制づくりを進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
生活つなぎ資金貸付	一時的に生活困難に陥った世帯に、生活のつなぎとして資金を貸付し、健康で安心できる生活の維持と自立の助長を図ります。	3,015	善銀
生活福祉資金貸付	経済的に困っている人に、県社協の生活福祉資金の貸付相談や貸付手続きを行います。 また、県社協から受託した特例貸付の償還事務について、貸付者に寄り添い、民生委員・児童委員とともに相談・償還指導を行っていきます。	22,710	県社協受託
心配ごと相談所開設と相談員連絡会の開催	住民の皆さんの身近な暮らしのなんでも相談窓口として「心配ごと相談所」を開設します。 さらに相談員どうしの情報交換を目的とした連絡会を開催します。	837 894	市補助 会費
チューリップ事業(つながりサポート事業) 【再掲】	コロナ禍において、貧困・孤独・孤立により不安を抱える女性が、社会の絆・つながりを回復することができるよう、生理用品や食料品の提供を通じて、対象者を必要な相談窓口や各種サービスにつなげるとともに、民生委員・児童委員等の地域の支援者につなげていきます。また、連携会議や研修会を実施し支援体制の強化を図ります。 事業は、施策連携・公民連携・地域連携の3連携により進めます。	3,207	市受託
歳末たすけあい見舞金の配付	経済的事情により生活に困っておられる世帯に、民生委員・児童委員と協力して見舞金を配付します。 また、障害者福祉施設、団体等へ見舞金を配付します。	6,185	共募
緊急食糧支援事業	一時的に支援が必要な世帯に、緊急的な支援として食糧を支給します。	100	共募

<関連する事業>

- ・各種事業推進に係る関係機関との連携強化
- ・地域福祉権利擁護事業の推進

(2-2) 地域福祉権利擁護事業の充実

- 生活支援専門員、生活支援員の力量を向上させ、利用者が安心して生活を送れるようにしていきます。
- 金銭の入出金等に係る事務処理をより厳格なものとし、利用者の財産保全を確実なものとしします。
- 地域包括支援センターや生活保護担当部署等、関係機関との連携をより強化し、利用者の課題に対してチームで取り組みます。
- よりわかりやすい広報誌やパンフレット、ホームページでの啓発、また出前講座を実施し、本事業への理解を深める取組を進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
地域福祉権利擁護事業の推進	判断能力が充分でないため、毎日の暮らしのなかで、福祉サービスの利用手続きや日常のお金の管理が不安な人が、地域で安心して生活を送れるように支援する地域福祉権利擁護事業の充実に努めます。特別な支援が必要な方に対し、専門機関との密な連携・支援体制の整備を図り、より一層きめ細かな支援ができるよう努めます。 また、事業の周知啓発に努めるとともに、生活支援員のスキルアップのため、市社協での研修会の実施や、県社協実施の研修の受講を進めます。	1,569 800 3,526	会費 市補助 県社協補助

<関連する事業>

- ・各種事業推進に係る関係機関との連携強化
- ・近所力アップ講座
- ・市社協ホームページ運営
- ・市社協広報紙「社協くさつ」発行

(3) 市社協の基盤強化

地域福祉活動を安定的・継続的に進めることができるよう、市社協事務局の体制を築くため、必要な財源の確保や、職員の育成に努めます。

(3-1) 地域福祉活動推進に要する財源確保 重点

- 「見える社協、魅せる社協活動」について企業等へ PR することで、地域福祉活動を応援してくれる賛助会員を増やし、加入促進を図るとともに、市社協会費制度への理解と協力を広げます。
- クラウドファンディングや目的を明確にした寄付金の提案等、新たな財源確保の方策を検討します。
- 市内の地域福祉活動へ助成を行っている赤い羽根共同募金運動を盛り上げることで、財源確保につなげます。

事業・項目	内容	予算	財源
市社協会員の拡大 【再掲】	福祉でまちづくりに参画する仕組みである社協会員制度の理解を広げる取組を、学区社協と連携し進めます。 ○一般会費 … 世帯を単位にした社協への参画を促進します。 ○賛助会費 … 企業を単位にした社協への参画を促進します。賛助会費の内 55%を学区社協へ助成します。	(収入) 一般会費 4,791 賛助会費 2,960	会費
善意銀行事業 【再掲】	善意銀行事業では、市民の善意の寄付などを財源として地域福祉活動を行っています。 生活つなぎ資金の貸付、高齢者への電話訪問事業、子どもの居場所づくり等地域福祉活動への支援を行うフードバンクセンター事業等の善意銀行事業について、広く啓発を行い、市民の善意の寄付金の募集を行い、活用を図ります。	3,286	善銀
ボランティア基金の運用、寄付金の募集	ボランティアセンターの運営、ならびに多様なボランティアや、地域福祉活動の振興のための寄付金の募集に努め、基金を有効に運用し、財源の確保に努めます。 また賛助会員にも、社協くさつ送付の際に寄付の案内を同封し、さらなる協力を依頼します。	(収入) 922	ボラ基金
「社協くさつ」 「ホームページ」 有料広告の拡大	広報紙「社協くさつ」、およびホームページのバナー広告掲載の積極的な募集を行い、財源確保に努めます。	(収入) 80	自主
寄付付き名刺の販売	売り上げの一部が当会の寄付となる「寄付付き名刺」をNPO法人アイ・コラボレーションと協働で販売し、寄付金の増収を図ります。	(収入) 3	自主

市社協キャラクター「ふくちゃん」啓発	ふくちゃんグッズを市社協事務所や地域の行事等で販売し、グッズを通しての市社協の啓発および財源の確保に努めます。 ○グッズ…ファイル、マスク、マスクケース、バッジ、シール	(収入) 30	自主
共同募金運動の推進	民間福祉事業の振興を図るために、10月1日から12月31日まで、全国的に展開される「赤い羽根共同募金運動」を推進します。 共同募金運動(赤い羽根・歳末たすけあい)の促進を図るため、地域の団体や市民等に広く呼びかけ、地域福祉の理解と募金の拡大に努めます。	別途	別途
赤十字事業の推進 (日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局)	日本赤十字社の会員募集や赤十字活動の普及を図り、地区事務局として、赤十字の活動を支える草津市赤十字奉仕団の活動を支援します。	別途	別途

(3-2) 事務局体制の強化

- 役職員等に対しての地域福祉研修会などを実施し、社会変化に応じた社協運営ができるよう努めます。
- 全職員のスキルアップをはかり、地域福祉コーディネート機能を発揮できるよう努めます。
- 事業の効果等確認し、継続する事業や見直す事業を明確にし、より地域のニーズにあった事業への更新等を行います。
- 「草津市社会福祉協議会職員行動規則」にのっとり、常に使命感をもち、信頼される社協づくりを進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
社会福祉援助技術現場実習	社会福祉の専門家をめざす学生に、人材育成の一環として、社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な実習の場を提供します。	(収入) 85	自主
第三者委員会の設置	市社協事業の信頼性の確保及び適正な事業実施のため、第三者委員会を設置します。	1	自主
理事会・評議員会の開催ならびに研修会の開催	役員体制の強化および透明性のある組織運営を図ります。	1,157	自主

職員研修、職員会議の開催	職員の人権意識の向上や、地域福祉コーディネータのスキルアップを目的に、研修を実施します。社会福祉の動向等について意見交換する場をつくるほか、権利擁護事業や貸付事業の担当者会議を開催するなど、職員の連携を図ります。 また、県社協等が主催する各分野の研修に参加し、能力の向上に努めます。	100	自主
関連団体と役員研修	滋賀の地域福祉活動の推進と情報交換や役職員の研修の場として積極的に参加します。 <ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県社会福祉協議会会費 ・滋賀県市町社会福祉協議会会長会費 ・湖南地域社会福祉連絡協議会会費 ・滋賀県社協縁特別会員会費 	1,092	自主